

三菱鉛筆株式会社

2024年 12月期 決算補足説明資料

2025年2月13日



2024年12月期 連結決算 概略

- ◆ 売上高は海外市場で堅調に推移したことや円安による押し上げ影響もあり、過去最高売上高を更新
- ◆ 売上総利益は原材料やエネルギーコストの高騰は依然として続いているものの、売上高伸長による販売差益の増加で21.8%増
- ◆ 営業利益はLamy社の持分取得に関連する費用等の影響により2.9%増
- ◆ 売上総利益、営業利益、経常利益、当期純利益のすべてで過去最高を更新

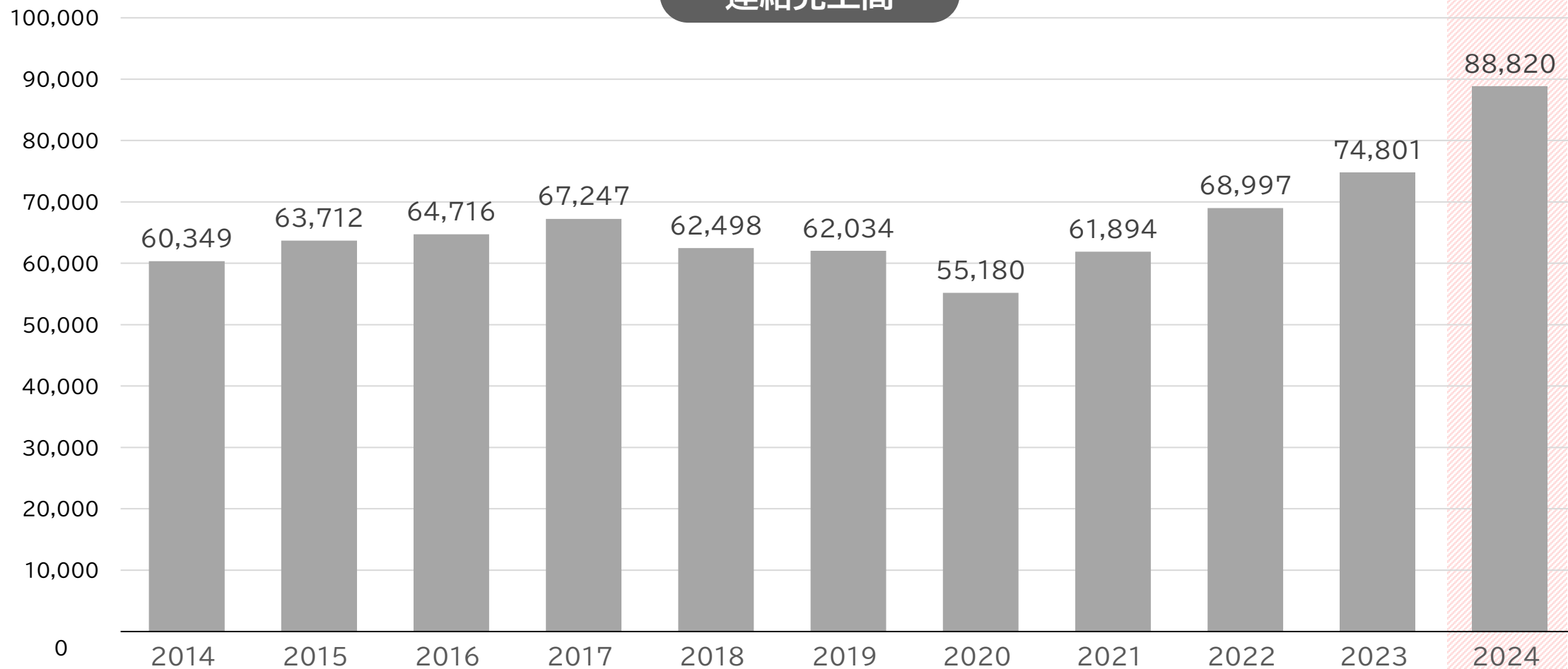
【連結】 単位:百万円	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	前年比	
						増減額	増減率
売上高	55,180	61,894	68,997	74,801	88,820	14,018	18.7%
(USD平均レート)	¥106.66	¥109.86	¥130.78	¥140.55	¥151.44	¥10.89	-
売上総利益	27,310	30,667	33,953	38,446	46,840	8,393	21.8%
(売上総利益率)	49.5%	49.5%	49.2%	51.4%	52.7%	1.3%	-
販管費	21,817	23,146	24,709	26,594	34,650	8,056	30.3%
営業利益	5,493	7,520	9,243	11,851	12,189	337	2.9%
経常利益	5,988	8,309	10,128	12,889	12,952	62	0.5%
当期純利益※	3,794	5,658	6,951	10,166	11,272	1,105	10.9%

(※)親会社株主に帰属する当期純利益

◆ Lamy社取込による上乘せ分を除いても過去最高売上高

(百万円)

連結売上高



連結売上高 地域別構成比

◆ 米国や欧州が売上高の伸びを牽引、欧州はLamyの売上も大きく寄与

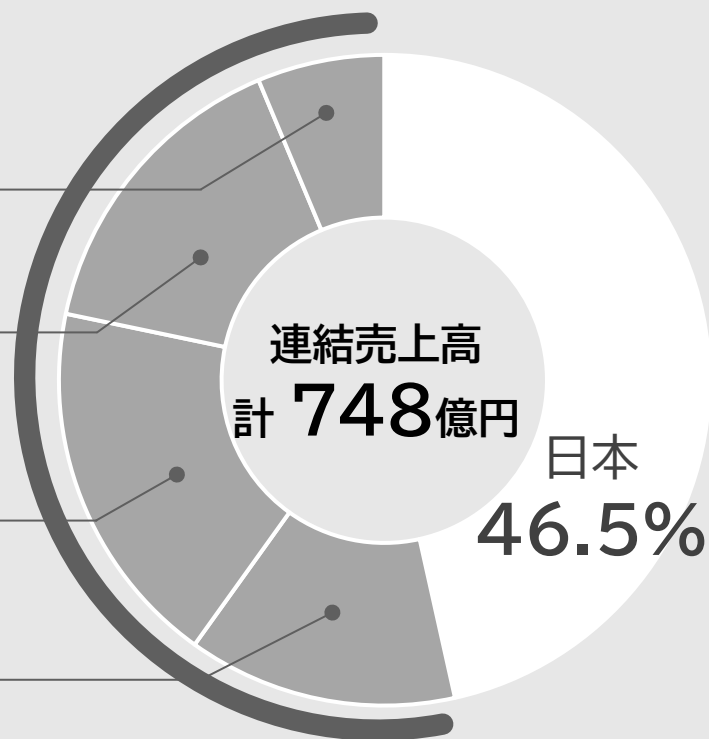
2023年

その他
6.3%

欧州
15.4%

アジア
18.4%

米国
13.4%



海外 53.5% 国内 46.5%

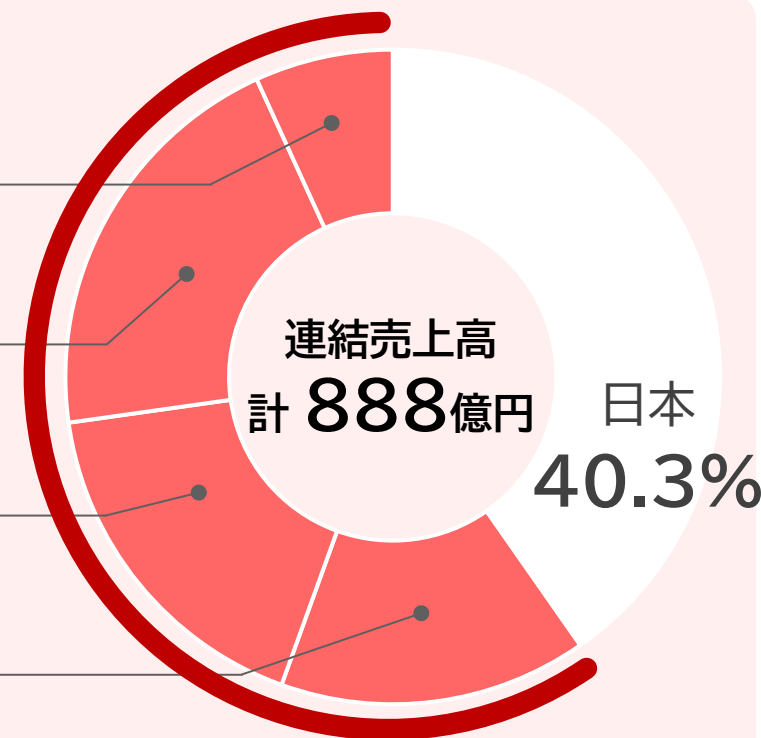
2024年

その他
6.8%

欧州
20.4%

アジア
17.3%

米国
15.2%

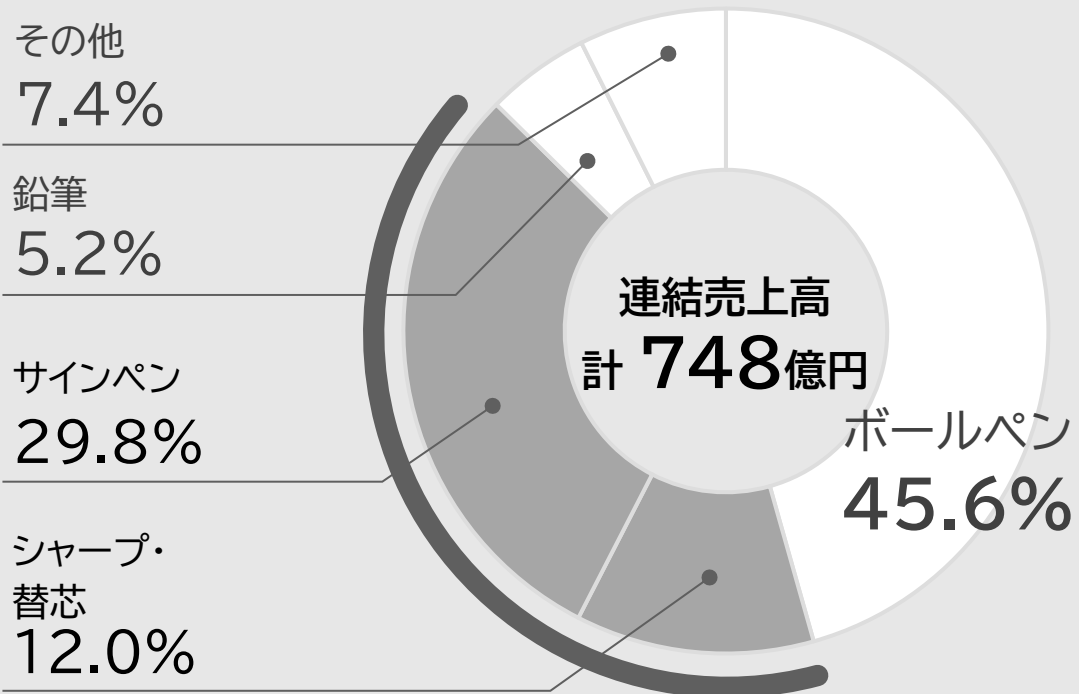


海外 59.7% 国内 40.3%

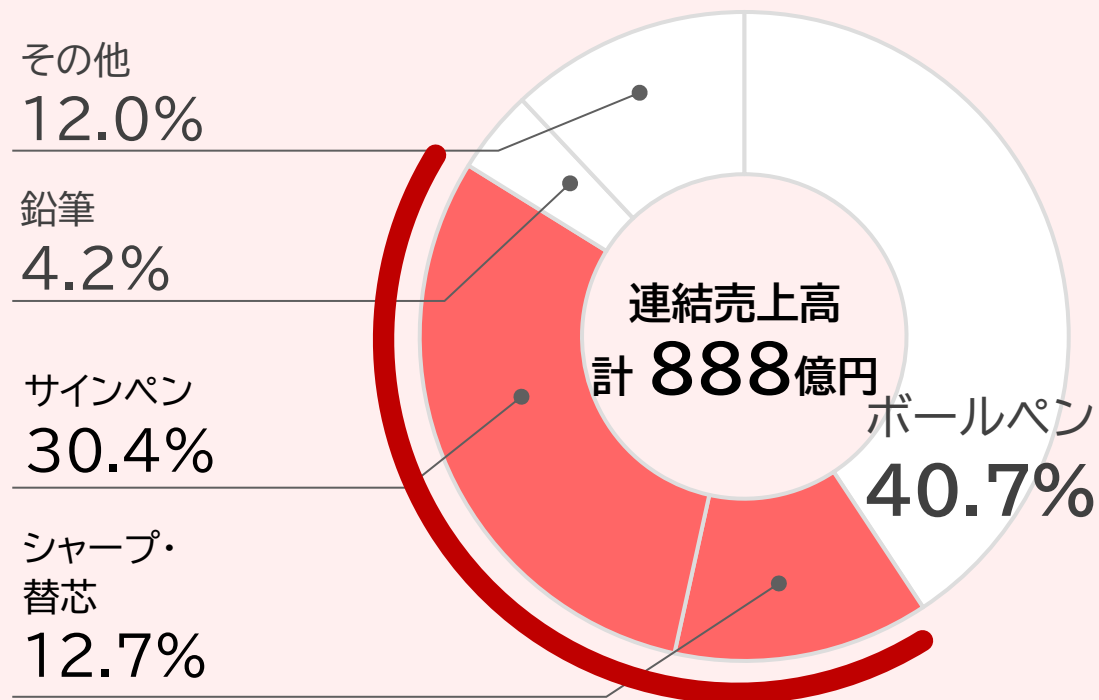
連結売上高 製品別構成比

- ◆ 国内ではシャープ、海外ではサインペンが伸長、またLamy社取込によりその他(万年筆)の比率が増加

2023年

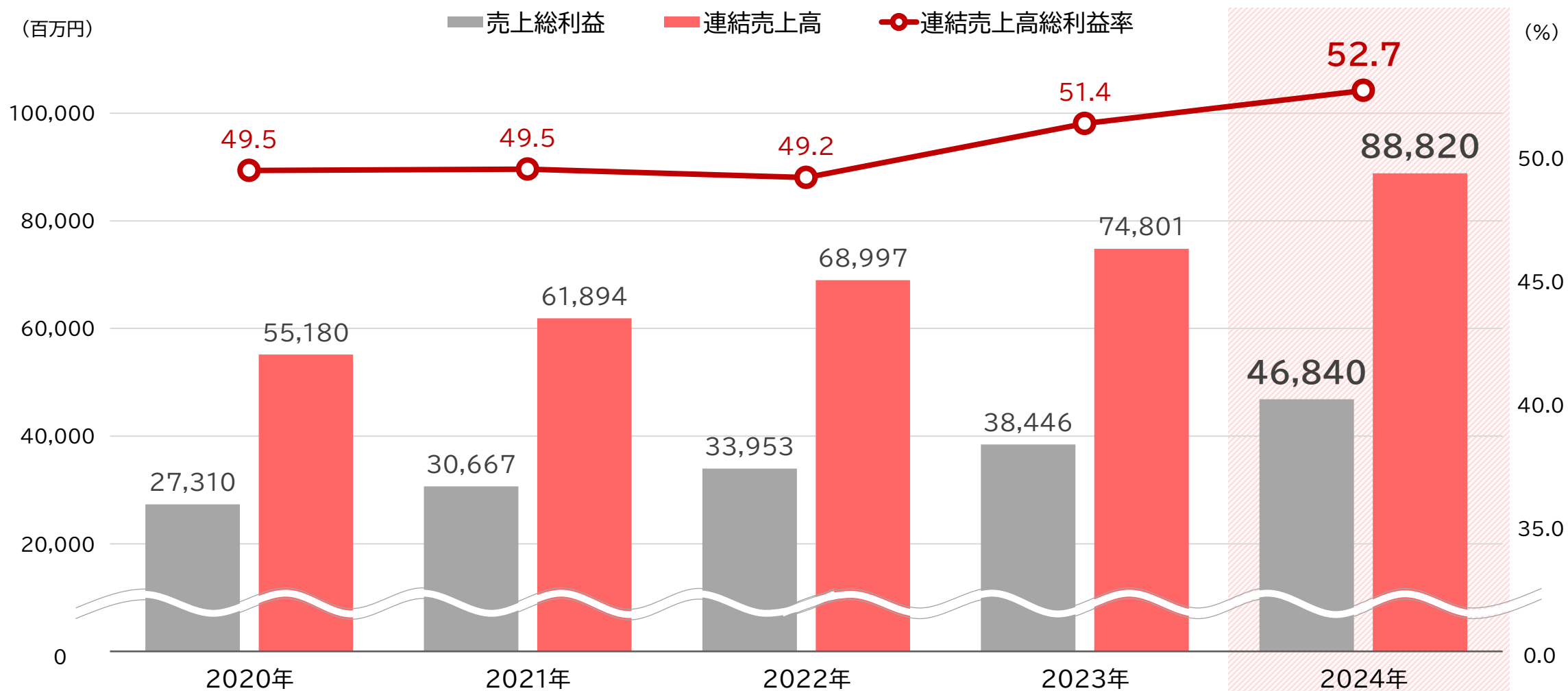


2024年



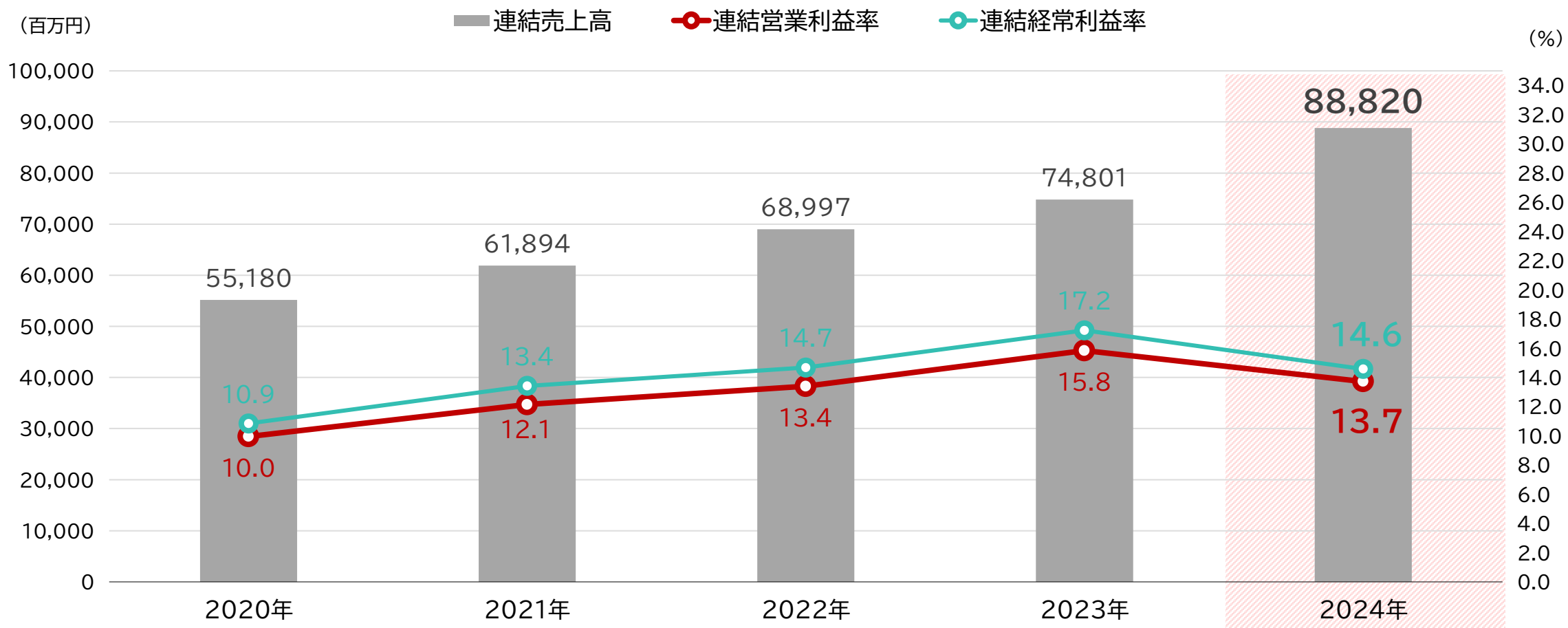
連結売上高総利益率

◆ 販売差益の増加に伴い、総利益率が上昇



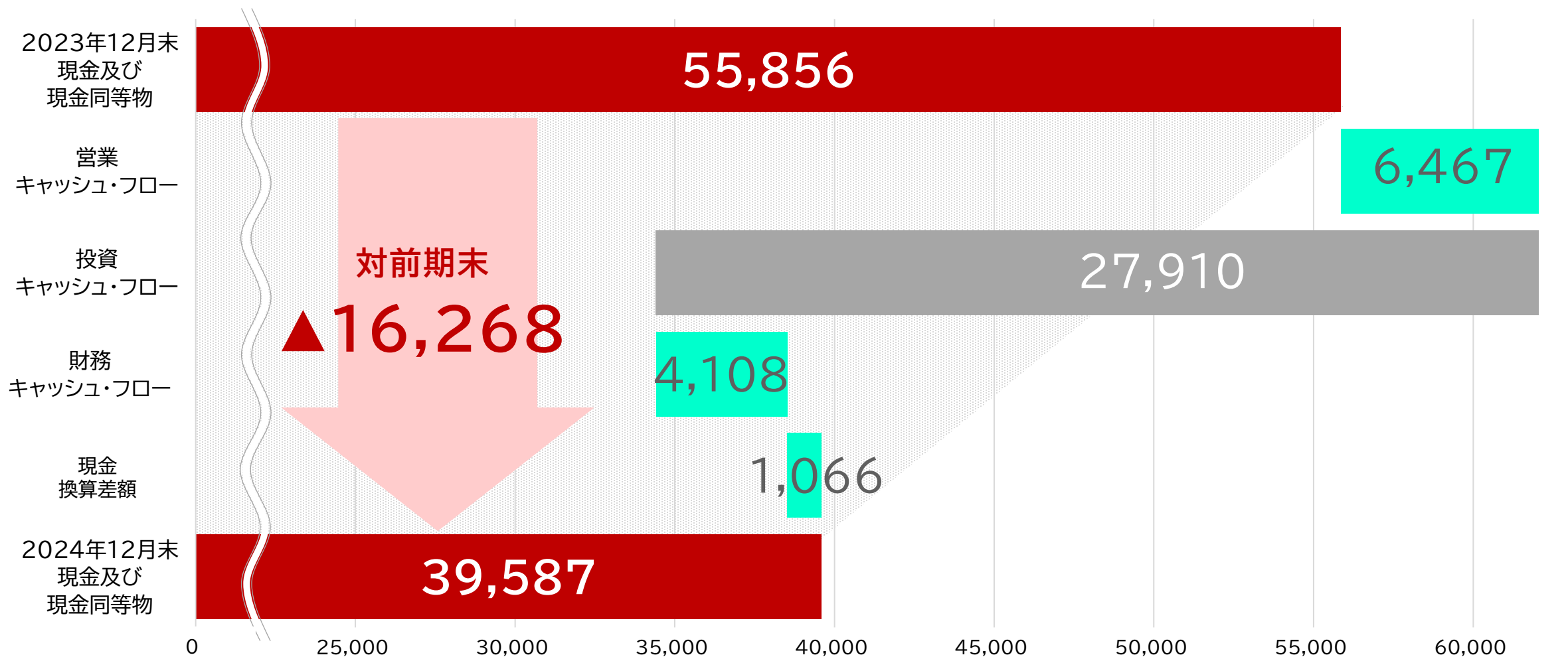
連結売上高営業利益率・経常利益率

- ◆ 売上高や総利益は増加するも、Lamy社の持分取得に関連する費用等の影響により営業利益率は低下
- ◆ 前年同期と比較し、外貨建て債権等の時価評価による為替差益が縮小したことで経常利益率も低下



連結キャッシュ・フロー

◆ 投資によりフリーキャッシュフローはマイナス

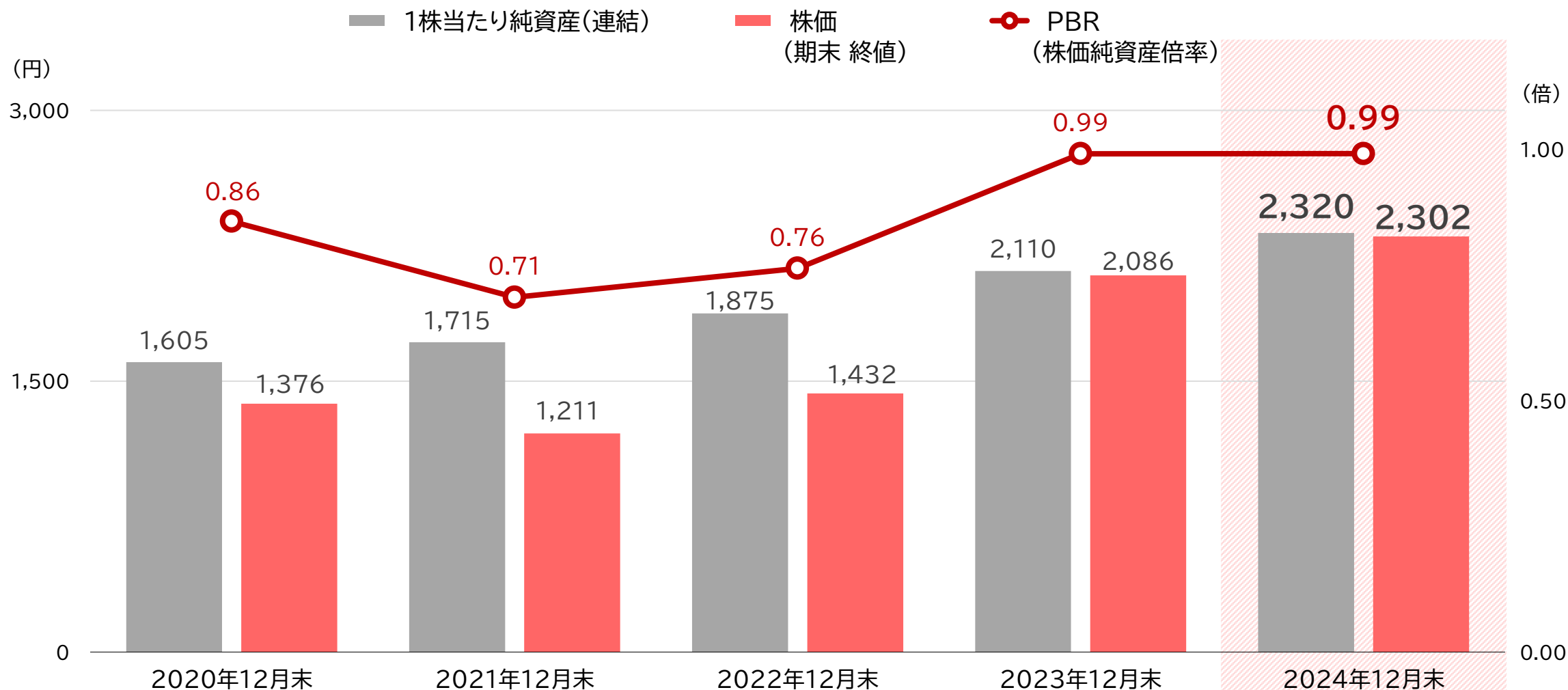


(※)キャッシュ・フロー計算書では定期預金残高は表現されませんので、BS「現金及び預金」とは一致しません。

(百万円)

1株当たり純資産 / 株価純資産倍率

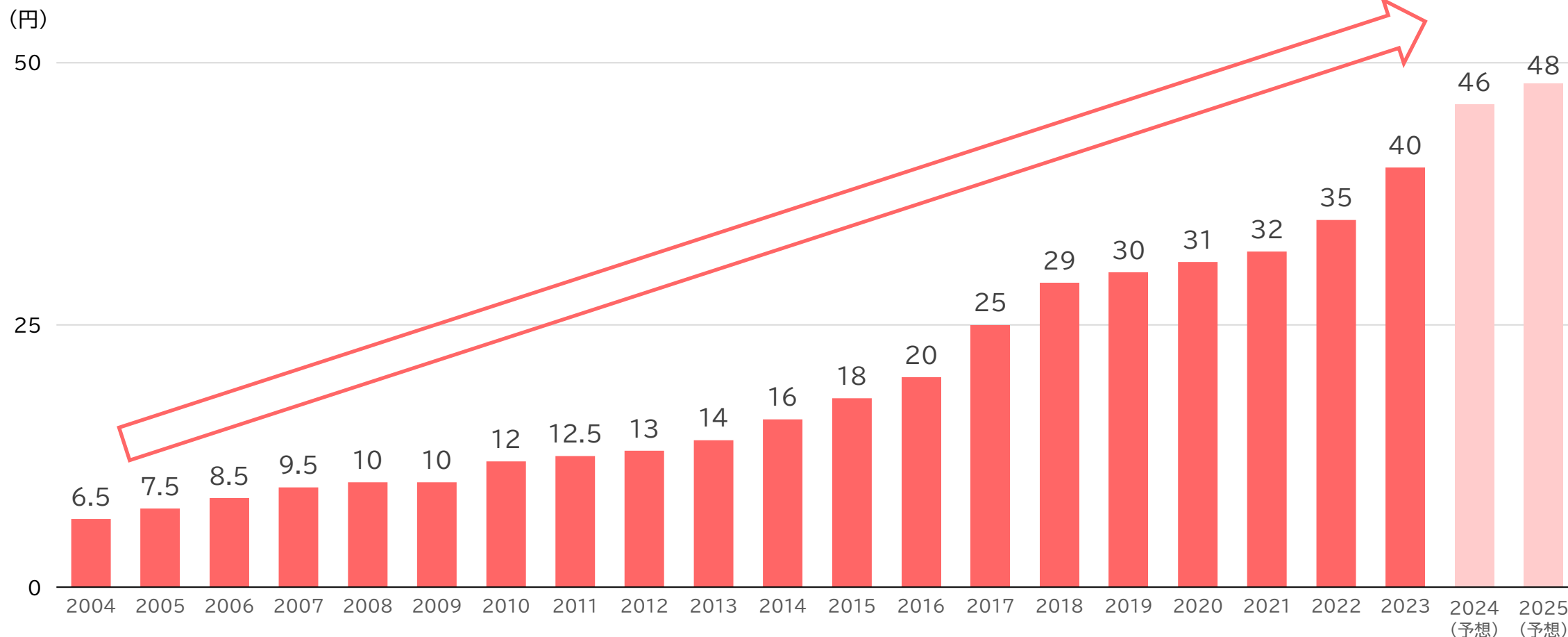
◆ 引き続きPBR1倍以上を目指した活動を継続



(※)PBR(株価純資産倍率) = 期末株価 ÷ 連結1株当たり純資産

配当金

- ◆ 累進配当を基本方針とし、22年連続累進配当を予定
- ◆ 2023年12月期より特別配当を10年間継続予定
- ◆ 今期末配当は、前回予想の1株当たり23円から2円増配とし、25円(年間で46円)となる予定



(※) 2017年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を実施したため、2010年の期首に株式分割が行われたと仮定して算定

違いが、美しい。

uni
MITSUBISHI PENCIL

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想となります。
従って、潜在的なリスクや不確実性が含まれており、実際の業績はさまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。